

国際連携教育プログラム

充実した内容で修了



留学生一同、満足げな笑顔

「国際連携教育プログラム修了式」が、12月16日に本郷キャンパスのサロン・ド・フンキョウで行われました。司会進行はサンドラ棚橋准教授が担当。

川邊学長の留学生激励の言葉に、セント・ジョンズ大学（米国）のマンジュ・パリク教授が感謝の言葉を返しました。川邊学長から個々に修了証書を受け取った留学生は、皆、満足げな笑顔。留学生代表として、



マラ工科大学（マレーシア）のシャスリン・チュ・モハメッドさんが、流暢な日本語で「日本の宗教・社会・文化・言語など様々な学習の中で、日本語を学ぶことは第2の故郷になりました。」

流暢な日本語で挨拶するモハメッドさん

修了式後は、心尽くしのフェアウエル・パーティーが開かれ、思い出話に花を咲かせました。一行はこの後、帰国の途に着

た」と挨拶すると、会場から大きな拍手が送られました。

同プログラムを運営する国際交流センターの野口昇センター長（副学長／外国語学部教授）は、「今年、川邊学長による講義もあり、充実したプログラムになりました」と成果を語りました。